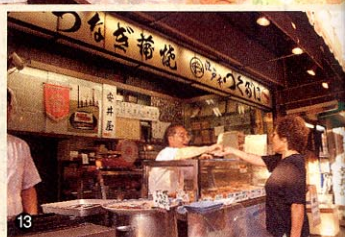


さて、「二葉堂」から、ちよいと足を延ばして、土手通りに出る。住所は「日本堤」。遊郭で知られる吉原はすぐそこである。

「昔はここに川が二本流れていて、堤も二本。それで二本堤って言うってたんですよ。吉原に行く前にうちで腹ごしらえするのが、その頃の定番だったんでしょうね。江戸っ子は気が短いから、さっと食べられる桜肉はうってつけ。火にかければあつという間にできあがりです」



12夕方になると途端にごった返すジョイフル三ノ輪商店街。鼻腔(びこう)を捕らえて放さないおいしい匂(におい)がたち込める。男爵コロッケ3個170円!には驚いた。



13

13三ノ輪橋駅前にある佃煮(つくだに)屋さん。浅炊き「あさり」が特に有名。うなぎの蒲焼(かばやき)のジュシーな音と煙に、しばし不動の姿勢。ホントに立ち去りがたい。

明治38年創業の「桜なべ中江」、その4代目となる中江白志さんである。関東大震災で建て直して以降は、震災にも遭わなかったというお店は、なんと築80年。店構えの結構なこと、板張りの廊下、靴脱ぎ、階段と、そここことにしっとりとした風情が薫る。

肝心の馬肉は九州の久留米産。中江の鍋用にと、特別に契約して育てたものだという。口に入れると、桜肉の甘み(み)が広がり、しかもしつこさがない。味噌(みそ)だれとおいしく溶け合っている。

玄關脇にはおしゃれなバツケージが。「馬の脂は肌荒れややけどにいいと昔から言われています。だから使わない脂肪部分を精製して、それを配合したクレンジングクリーム、せっけんにしたんです」

美味にして美肌にも効果あり、伝統と新しさが両立しているわけである。

「桜なべ中江」から歩いて5分。外国人バツバツカーに大好評の「行燈旅館」に寄ってみた。アクリル系ボードの外観が個人美術館を思わせる。

オーナーの帰山敏子さんによれば「宣伝はいっさいしないがホームページと口コミで広がった」と言う。取材当日も次々と海外からの観光客が訪れる。浅草、銀座、六本木、空港にもアクセスはいい。ここを拠点に国内各地を旅行する人が多いのもわかる。

「気取らない民宿みたいなものですよ(笑)」

帰山さんが趣味で集めた骨董品(こっとうしん)が随所に飾られている。内部の陰影が美しく、和の様式美とモダンイズムがうまく引き立ってあつている。

帰路、都電の三ノ輪橋駅に出る。夕暮れの買物客、家路を急ぐ人々で町は一気ににぎわう。「チンチン、ゴーツ」と都電が走る。その音は、ささやかな暮らしを応援するかのよう(よう)に響いていった。

Tokyo/Kanagawa Culture Map
伝統の技を訪ねて

電車●JR中央線快速(新宿～御茶ノ水)、JR総武線(御茶ノ水～秋葉原) 160円(約12分)、東京メトロ日比谷線(秋葉原～三ノ輪) 160円(約7分) / JR山手線外回り(新宿～大塚) 160円(約12分)、都電荒川線(大塚駅前～三ノ輪橋) 160円(約37分) 木目込み人形工房 一葉堂●03-3872-0211 台東区竜泉3-19-9 一葉記念館●03-3873-0004 台東区竜泉3-18-4 入館料:一般130円、小中学生50円。 毎年11月23日(一葉祭)は無料公開。 開館時間:9:00～16:30(入館は16:00まで) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) 12月29日～1月3日(特別整理期間) とともに東京メトロ日比谷線「三ノ輪」駅から徒歩10分 桜なべ中江●03-3872-5398 台東区日本堤1-9-2 「三ノ輪」駅から徒歩10分 行燈旅館●03-3873-8611 台東区日本堤2-34-10 「三ノ輪」駅から徒歩5分 ジョイフル三ノ輪商店街●荒川区南千住 都電荒川線「三ノ輪橋」駅から徒歩3分、東京メトロ日比谷線「三ノ輪」駅から徒歩5分



15

1415行燈旅館は和風モダンの傑作として建築界でも有名。宿泊客のほとんどは欧米各国からの旅行者。1室1泊8000円(定員2名)から。古くて新しい町町のダイナミズムがわかる。一晩泊まって異文化コミュニケーションも一興か。



14